

倉庫業では変化が ニューノーマル

日々混乱が起こり、状況も変わりやすい倉庫業は、日々変化に適応し続けなければなりません。



今、どのような混乱を切り抜けようとしていますか？



Eコマースの急成長



大量の受注



品目レベルのフルフィルメントの増加



納期の短縮



予測不能な在庫状況



人手不足



離職率の高さ



従業員の安全に関する懸念

サプライチェーンの混乱に対処する時は、 オペレーションの現場から着手する

1

解決しなければならないオペレーションの課題を突き止めて優先順位を付ける

2

コアから始める：
従業員とワークフローの最適化

3

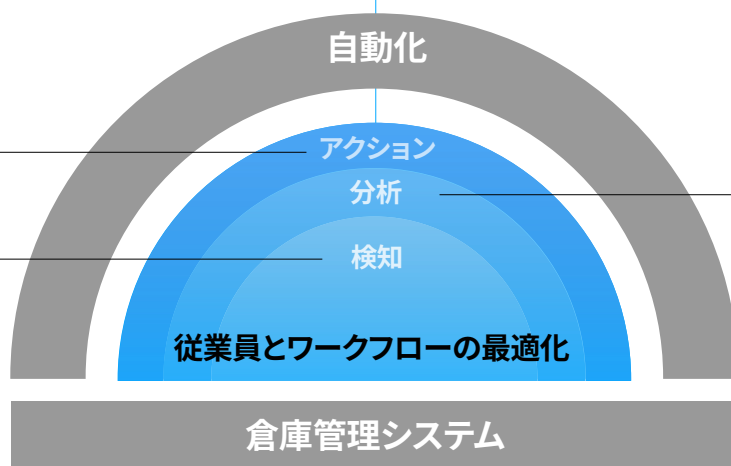
オペレーションにおける重要3要素をうまく調和させる

アクション:

データドリブンなインサイトを基にアクションを起こし、生産性と効率を高めます

検知:

トランザクションベースまたはリアルタイムでデータを読み取り、あらゆる物理資産と人材をデジタル上で把握する



分析:

取得したデータを使ってアクションにつながるインサイトを引き出し、意思決定に役立つ情報を提供し、ワークフローを最適化し、最適な次の一手を提案します



ZEBRA
CAPTURE
YOUR EDGE

前途を開くには段階的に進むのが最善

段階的なアプローチならオペレーションに大きな影響を及ぼすことなく、各自のペースでオペレーションの可視化を強化できます。

Zebraの倉庫成熟度モデルで次の一步を計画しましょう

オペレーションの課題を突き止めて優先順位を付けます



いくつあるのか?
在庫を正確に把握できないと、オペレーションの効率が悪くなります



どうすれば処理量を増やせるのか?
受注量が増え、品目レベルのピッキングや在庫移動が増えると、毎日のトランザクションが増えます



ボトルネックをどうやって解消するのか?
スタッフ主導のスクランベアのプロセスは、速度や精度が十分ではありません



次に打つべき手は?
判断の数値化や最適化が即座に行えません



需要の変化に迅速に対応するには、どうすればいいのか?
現代の変化のスピードについていくには10歩先に行く必要があります

第1段階

- あらゆる在庫移動を追跡
- 最新のモバイルデバイスで各スタッフをWMSに接続

第2段階

- 作業に適したデバイスを導入し、快適で手間のかからないデータキャプチャを強化
- 動的モバイルワークフローに対応できるようWMSデータを最適化

第3段階

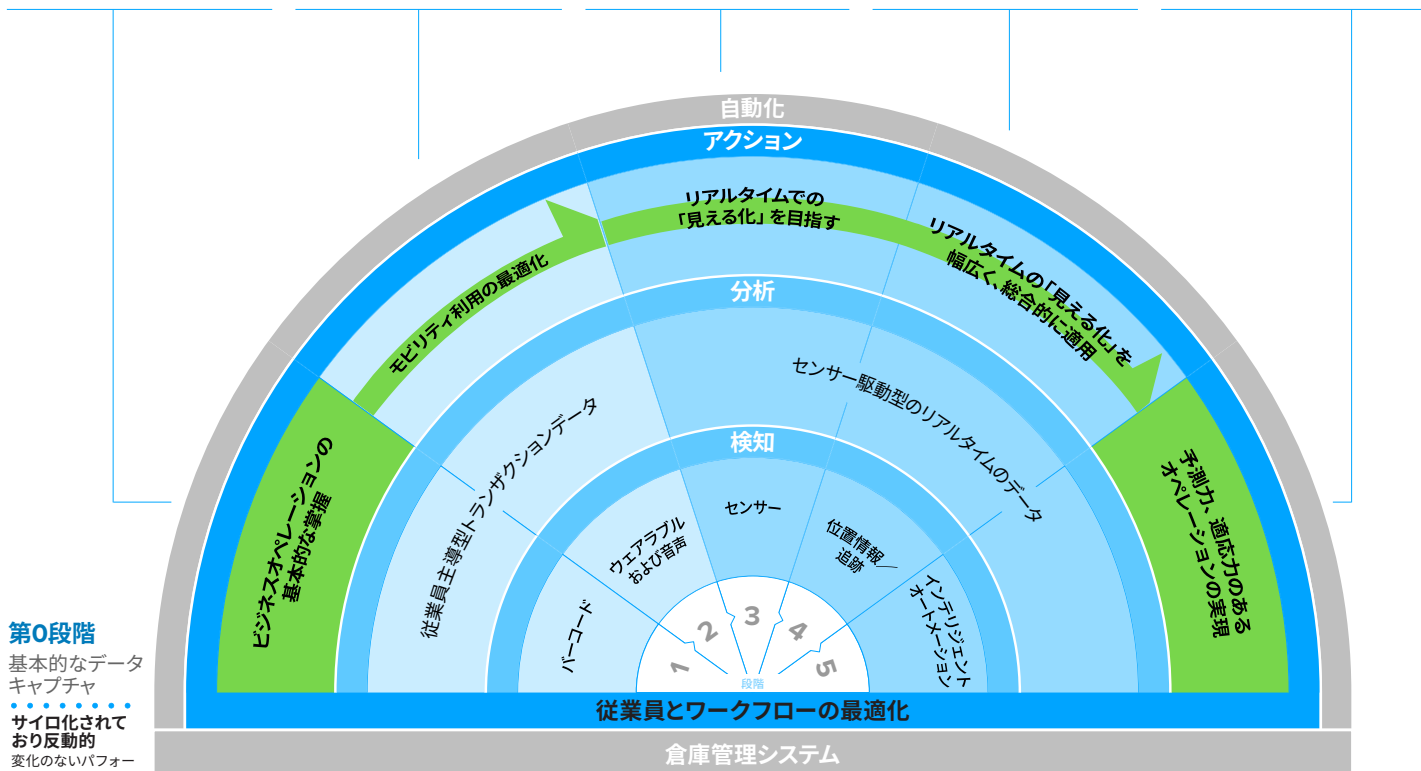
- コンプライアンスが重要な対象エリアでデータキャプチャを自動化
- 例外管理で、人員を効率的に活用

第4段階

- リアルタイムの位置情報データでオペレーションを可視化
- そのタスクに最も近いスタッフまたは資産を配置
- 自動アラートでプロセスのステップ数を削減

第5段階

- インテリジェントな自動化によって、すべてのセンサーデータセットを融合
- リアルタイムの予測と適応



第0段階
基本的なデータキャプチャ
サイロ化されており反動的
変化のないパフォーマンス目標の達成

© 2020 Zebra Technologies Corp. and/or its affiliates. Warehouse Maturity Modelの内容の一部またはすべてをZebra Technologies Corporationの許可なしに複製することを禁じます。

オペレーションにこのフレームワークを適用する方法が知りたい

今すぐ当社までご連絡ください！

規模も課題も問いません

Zebraは提供しているハードウェア、ソフトウェア、ソリューション、サービスの幅の広さと深さを誇っており、倉庫におけるあらゆる分野のオペレーションに対応。現代ならではの物流の問題を解決し、最小限のリスクで最大限の投資対効果を実現します。



ゼブラ・テクノロジーズ・ジャパン株式会社
〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-5-2 内幸町平和ビル 14F
TEL 0066-33-821700 (フリーダイヤル) FAX 03-3580-8301

Zebra Technologies Asia Pacific Pte. Ltd.
182 Cecil St. #08-01 Fraser Tower, Singapore 069547
TEL +65-6858-0722 FAX +65-6885-0838